

子どもを中心とした居場所づくりが果たす 孤独と孤立の解決の可能性

2021年7月1日
キューピー株式会社
広報担当 森 佳光

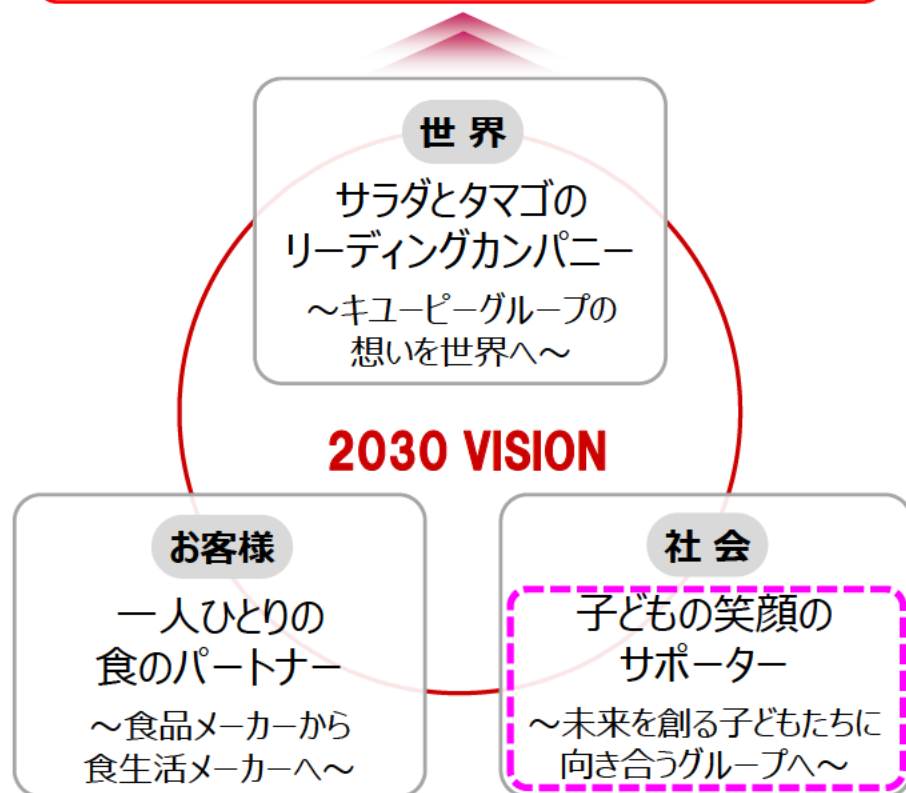
1. キューピーグループのビジョンとサステナビリティ課題

2/6

＜キューピーグループ2030ビジョン＞

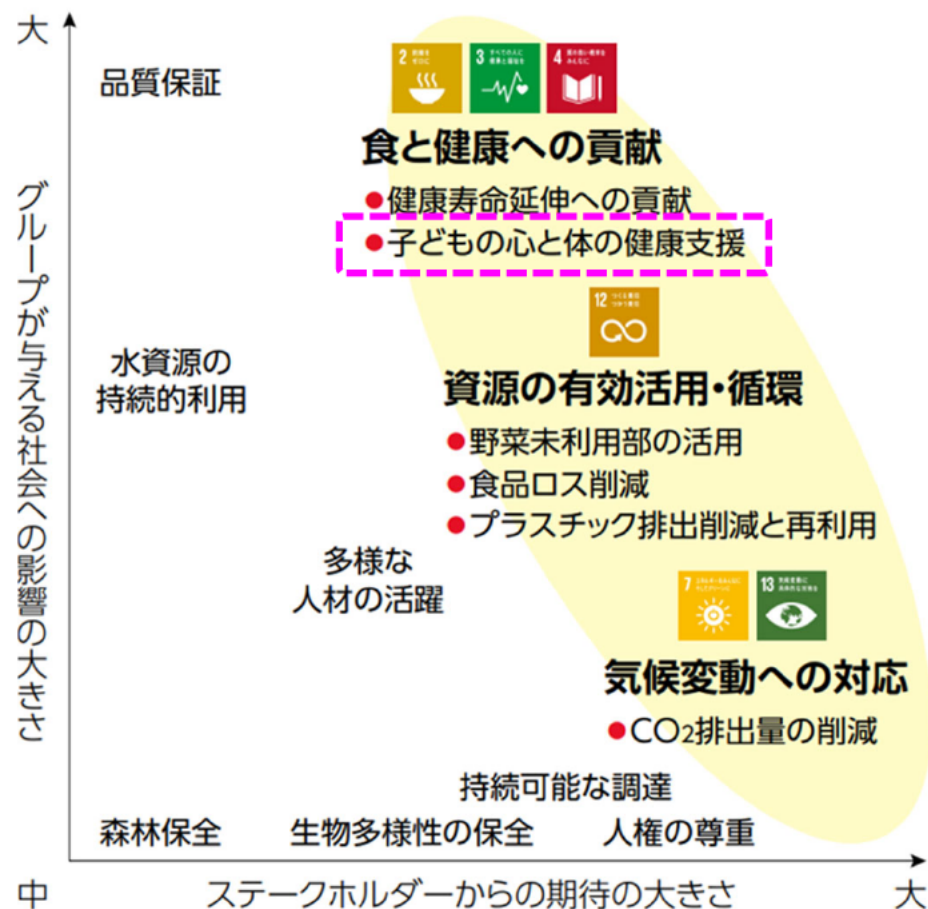
めざす姿

私たちは
「おいしさ、やさしさ、ユニークさ」をもって
世界の食と健康に貢献するグループをめざします



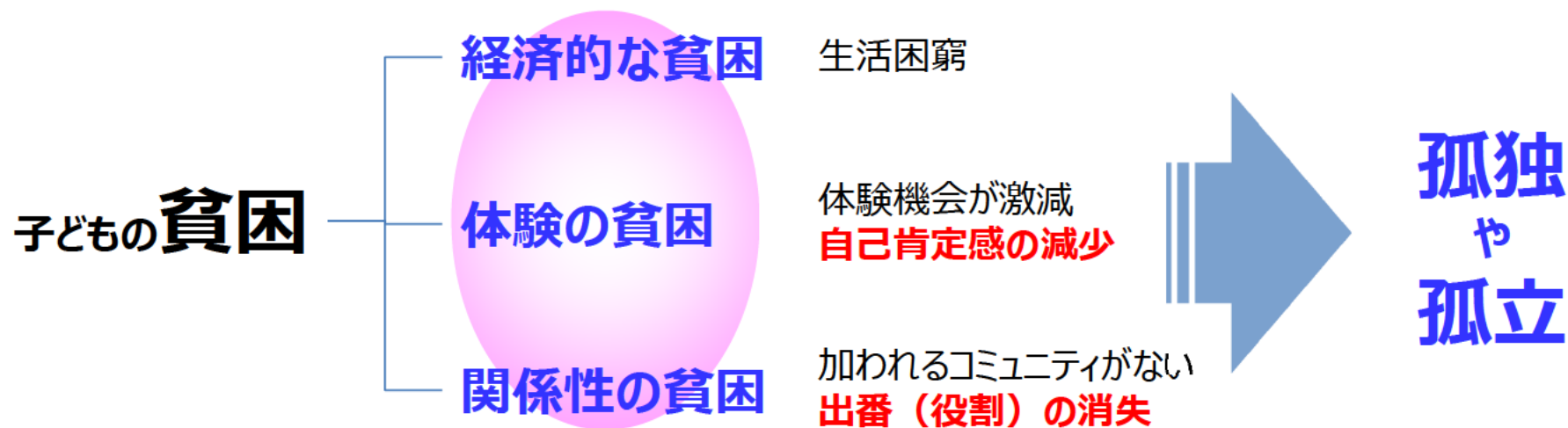
＜サステナビリティに向けての重点課題＞

取り組みテーマの特定



子どもの心と体の健康支援

- ・食育や共食の体験の場を提供
- ・子どもや子育て家族への食を通じた支援により
子どもと家族・社会とのコミュニケーションを応援



コロナ禍でさらに助長されている…

食を通じた子どもたちの居場所づくり



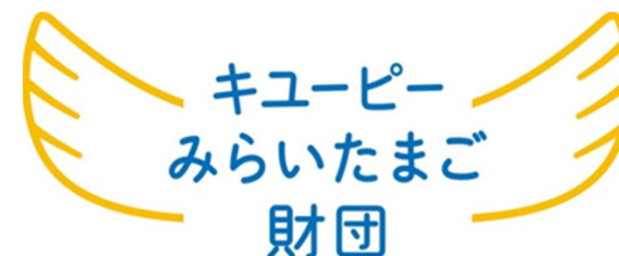
でも、
一企業の取り組みでは、到底及ばない

想いのある方々は、たくさんいる！

財団による支援活動

1) 設立の想い

「食を取り巻く社会課題」がますます大きくなっているなか、当社グループが進めてきた独自の取り組みを進展させるだけでなく、想いを共有しうる団体の活動を広範に支援することで一企業だけでは成し得ない社会貢献に繋がりたい
～次代をつくる子どもたちへの支援を中心に～



2) 支援の領域

- ・食育に関わる活動
- ・**食を通じた子どもの居場所づくり（子ども食堂など）の活動**

3) これまでの歩み

2017年2月 自社株150万株を有利発行、配当を財団原資に

4月 一般財団法人として設立、活動開始

2019年3月 内閣府より公益財団法人の認定

2020年6月 コロナ禍で困窮する家庭、子ども食堂に商品、支援金を寄付

1) 助成授与式での交流イベント

- ・助成団体同士の取り組みや悩みの共有、情報交換
- ・活動に賛同し、「元気」につながる応援の場を提供
- ・2021年度はオンラインで開催

＊従業員も参加

2) 「地域の居場所づくりサミット」

(活動団体の交流イベント)

- ・財団の活動紹介と助成団体の活動報告
- ・子ども食堂などの活動団体の工夫や意見交換の場
- ・設立以来8回開催、2020年度からはオンライン開催

＊6月開催のサミットには約190名がエントリー

＊従業員も参加/視聴



5.あらためて気づいたコト

子ども食堂を運営される活動団体の方々と交流して・・・

- ・子どもの貧困、孤独と孤立の解決には、居場所づくりの果たす役割は大きい
- ・居場所には、みんなが集える、笑顔になれる「食」の存在＝共食が重要
- ・「集まるコト」（居場所）に加えて、**出番（役割）があるコト**

孤立・孤独を、地域のコミュニティで包み込み、解決の糸口に

※コミュニティには、集う人たちに**出番（役割）があり、多様な世代の参画がポイント**

例として)

(多世代型子ども食堂)

- ・学習支援 … 子どもたちに勉強を教える地域の大学生
 - ・食事提供 … 地域の大人や高齢者、準備や片付けを手伝う子どもたち
 - ・食材等支援… 地元企業や食品メーカーなど
 - ・高齢者や子どもの見守り
- ・・・などなど

+

* 食育を通じた**自己肯定感醸成の機会**を創出 … 私たち食品企業など

ボクにもできる！が、孤独や孤立に立ち向かう自信と成長を育める

その機会と可能性を食育が果たせる

・・・と信じています

参考；支援活動の推移

1) 助成事業の推移

助成件数（件）	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	累 計
食育活動	8	10	23	23	24	88 件
居場所づくり	12	16	47	48	82	205 件
計	20	26	70	71	106	293 件
特別助成						総計 391 件
コロナ禍特別支援						98

2) コロナ禍での、こどもたちへの支援として商品寄贈

- ・マヨネーズ、ドレッシング、パスタソース、フルーツ加工品を寄贈
⇒**合計で約12万個（計4回）の商品を寄贈**

（ｷｰﾋﾟｰ、ﾌｻﾏﾀから商品を財団へ寄付、財団が配送費を負担）

その他；

- ＊昨年6月、当社より財団に500万円寄付⇒財団として
1,200万円を団体に寄付